

高齢者施設におけるクラスターの発生について（第1報）

令和3年5月26日（水）、本市内の高齢者施設において、感染対策が行われていた中でクラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・5月18日（火）、高齢者施設の従業員1名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を実施したところ、同日、陽性が確認されました。
- ・このため、5月20日（木）以降、同従業員と接触の可能性のあった高齢者施設の従業員15名及び入所者43名がPCR検査を順次受検したところ、5月27日（木）までに従業員2名及び入所者8名の陽性が確認されました。

（5月18日結果判明：1名（5月22日公表）
5月21日結果判明：1名（5月22日公表）
5月24日結果判明：1名（5月26日公表）
5月26日結果判明：4名（5月28日公表）
5月27日結果判明：4名（5月29日公表）

- ・患者のうち、8名は感染症指定医療機関等に入院し、3名は宿泊施設で療養しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴及び県外への往来はありません。

2 患者概要

(1) 年代

区分	20代	30代	70代	80代	90代	計
従業員	1	1	1	—	—	3
入所者	—	—	1	4	3	8
計	1	1	2	4	3	11

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

中等症（入所者2名）又は軽症